

「高め合い 認め合い 楽しく学び合う 小鹿野小学校」

# 学校だより



学校教育目標 ○仲良く力を合わせる子 ○明るく元気な子 ○進んで学習する子  
小鹿野町立小鹿野小学校 3号 令和2年 5月28日 発行

## 「子どもたちが学校に戻ってきます！」 ～教育活動の再開に向けて～

校長 坂本 勉

新緑のまぶしい季節となりました。6月1日から、いよいよ子どもたちが本格的に学校に戻ってきます。学校の再開です。この日をどれだけ待ちわびていたことでしょうか。

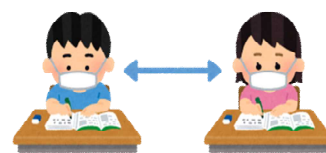
本校では、町内や近隣の市町の感染状況などを確認しながら、臨時休業中に学習課題の受け渡しや子どもたちの健康状態の確認のために、週に1回、臨時登校を行っておりました。感染防止の観点から2時間程度のわずかな時間ではありましたが、お友達と話をしたり、校庭で遊んだり、マスク越しに伝わる笑顔で言葉を交わす場面をたくさん見ることができました。やはり、**互いに顔を見ながら話すという人と人の関わりは、元気な毎日を送るための一つの要素**だと改めて感じたところです。

さて、新型コロナウイルス感染防止のために3密（密集・密接・密閉）の回避を含めた「**新しい生活様式**」の実践が求められています。6月からの学校再開の中で、このことをどこまで徹底できるのか、とても悩ましい問題です。

学校というところは、子どもたちがいろいろな人と関わる様々な体験を通して成長していく場です。だから授業では自分の考えを言葉にして伝えたり、歌や体を動かす活動で自分の思いを表現したりしながら、互いに刺激し合い、磨き合っていくのです。休み時間に鬼ごっこで元気に校庭を走り回って相手にタッチすることも、楽しい会話で盛り上がる給食の時間も、全てが学びの場となっているのです。

そのような、**これまでの普通の学校生活と、今求められている「新しい生活様式」と**、どちらも大切に考えなければなりません。

再開後の教育活動は例年と大きく変更せざるを得ません。学校においては、「**感染源を断つこと**」「**感染経路を断つこと**」「**抵抗力を高めること**」をポイントとした感染症対策を取りながら、子どもが健康で安全に学校生活を送れるように配慮していかなければなりません。また、今年度は例年に比べ授業日数が減少しており、夏季休業日等の短縮をせざるを得ない状況です。具体的な期間等については追って連絡をしますが、まずは、学校再開後、1時間1時間の授業を大切にしていきたいと考えております。



なお、今後も社会全体が長期間にわたり新型コロナウイルス感染症への対策を講じていかなければならないという認識に立ちつつ、子どもたちの健やかな学びを保障することとの両立を図るために、保護者の皆様にも御負担をおかけすることになりますが、お子様の健康管理や感染防止の取組に引き続き、御理解と御協力をいただきますようお願いいたします。

